



1. 日和佐港北防波堤頭の波浪 昭和13年9月5日午前11時30分)

徳島縣日和佐港修築工事

徳島縣施行

修築計畫の沿革

日和佐港は太平洋に面する徳島縣の南海岸に位し、古來より附近唯一の天然港として繁盛を極めてゐた。然るに本港は日和佐川の河口港にして、港口水深僅に膝を没するに過ぎず、漁船の出入は幸じて、満潮時を利用する状態である。尙北側海岸俗稱大濱の砂は、風浪の作用により常に移動し港口を埋没し、船舶の出入を不可能ならしむることが尠くない。而して其都度人力に依るか或は降雨出水を待つて排砂するの他途なく、一度碇泊中港口閉塞せんか、月餘の碇泊も稀でない。

此等の理由で昭和七年漁港として工を起し總工費六十二萬圓、二分の一の國庫補助を仰ぎ、昭和九年北防波堤を着工した。爾來北防波堤の進捗に伴ひ、大濱よりの漂砂は影を潜

め、港口水深干潮而下四米に浚渫したが何等異状を呈せず、依然水深を保ち、船舶の出入時に制限なく、自由且安全にして、最近二米護岸の進捗と共に港灣の利用を著しく増大するに至つた。

工事計畫書

(一) 工事費内譯書

費目	豫算高	備考
工事費	570,000.000	
事務費	50,000.000	
計	620,000.000	

(二) 計畫概要

一、北防波堤 本堤主要部構造は捨石均の上重量約十九廳の方塊混凝土を以つて積疊、其上部には場所詰混凝土を冠す。而して堤體内外兩側は方塊一列を以つて圍ひ、捨石